

Title	はじめに
Author(s)	西岡, 加名恵
Citation	教育方法の探究 (2018), 21: i-i
Issue Date	2018-08-10
URL	<a href="https://doi.org/10.14989/235501">https://doi.org/10.14989/235501</a>
Right	許諾条件により本文は2019-08-11に公開
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

## はじめに

2017年度の最初と最後に、教育方法学講座は、2つの大きな転機を迎えました。

第一は、田中耕治教授のご退職です。田中先生には、1995年に京都大学教育学部助教授に就任されて以降、永年にわたり、教育学研究科と教育方法学講座を担ってきていただきました。田中先生は、アメリカ合衆国における教育目標・評価研究の展開、特にタイラー（R. W. Tyler）やブルーム（B. S. Bloom）を起点とする教育評価のシカゴ学派に関する史的研究を進めるとともに、戦後日本における教育実践に関する歴史研究を開拓されました。田中先生は教育学の立場からの教育評価論を構築され、とりわけ「質と参加」の観点から「真正の評価」論を考究し、その評価方法として「ポートフォリオ評価」と「パフォーマンス評価」を紹介されました。『学力評価論入門』（京都・法政出版）、『教育評価』（岩波書店）などの多数の著書、編著・翻訳書を刊行されたほか、洋書の刊行など国際交流にも尽力されました。田中先生の論文は、中国や韓国でも翻訳されています。

しかしながら、田中先生の最大のご功績は、多数の研究者を養成してくださったことでしょう。ご退職を記念し、卒業生が結集して『グローバル化時代の教育評価改革』（日本標準）、『戦後日本教育方法論史（上・下）』（ミネルヴァ書房）を刊行できたことは、大きな喜びでした。また、京都市立高倉小学校との13年間にわたる共同研究を総括する1冊として、『資質・能力を育てるカリキュラム・マネジメント』（日本標準）の刊行にも至りました。

田中耕治先生の温かいご指導に心より感謝申し上げますとともに、ますますのご健勝とご研究の一層のご発展をお祈り申し上げます。

第二は、教育学研究科の再編です。2018年4月、教育方法学講座は、教育・人間科学講座 教育方法学・発達科学コースとなりました。組織が変わっても、理論と実践を架橋する教育方法学の教育・研究に一層邁進していきたいと思えます。今後とも、教育方法学研究室へのご指導・ご鞭撻を、よろしく願いいたします。

2018年4月

教育方法学研究室・教授

西岡 加名恵